

# 学習課題(中学校2年生)



## 【国語】

### <学習内容> 「漢詩の風景」

○教科書「漢詩の風景（教科書 P162～166）」を読んで、描かれている情景や作者の心情を想像しながら漢詩を読み味わい、自分の好きな詩を1つ選んで、その魅力について説明してみよう。

### <取り組み方>

- (1) 「春暁」を読み味わおう。
  - ①漢詩を声に出して読んでみよう。
  - ②この詩の形式は何だろう。＊下の〈学習のヒント〉を参考にしよう
  - ③押韻を探してみよう。＊下の〈学習のヒント〉を参考にしよう
  - ④教科書 P162～163 の解説文を参考にして、起句・承句・転句・結句に描かれている情景を絵に描いてみよう。
  - ⑤描いた情景を踏まえ、作者がどのような状況・どのような心情でこの詩を作ったかを考えてまとめてみよう。
  
- (2) 「絶句」を読み味わおう。
  - ①漢詩を声に出して読んでみよう。
  - ②この詩の形式は何だろう。
  - ③押韻、対句を探してみよう。＊下の〈学習のヒント〉を参考にしよう
  - ④教科書 P164・165 の解説文を参考にして、起句・承句に描かれている情景をイメージして、自分なりに絵を描いてみよう。  
(漢詩に出てくる「色」に着目して、色も付けてみよう)
  - ⑤承句・転句では、作者のどのような心情が読み取れるだろう。描いた起句・承句の情景と比較しながら、教科書 P164・165 の解説文を参考にしてまとめてみよう。
  
- (3) 「黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」を読み味わおう。
  - ①漢詩を声に出して読んでみよう。
  - ②この詩の形式は何だろう。
  - ③押韻を探してみよう。
  - ④教科書 P165～166 の解説文を参考にし、作者がどのような状況・どのような心情でこの詩を作ったかを考えてまとめてみよう。
  
- (4) 3つの詩から自分の好きな詩を1つ選び、その魅力について説明してみよう。
  - ①選んだ漢詩の中から好きな表現や句を抜き出してみよう。

②抜き出した表現や句を引用して、その漢詩を好きだと思った理由を200字程度でまとめてみよう。

(5) (4)でまとめた文章を家の人に読んでもらおう。

※(1)～(5)で学習して感じたこと、考えたことを取組シートにまとめよう。

※(5)について、家の人に伝えることがどうしても難しい場合は、家の人がいることを想像して、声に出して読むことでも構いません。

### <学習のヒント>

(1) 漢詩の決まりを理解しよう。

#### ポイント1 詩の形式

絶句…四句（四行）からなる詩。

※一句の字数が五字→五言絶句 一句の字数が七字→七言絶句

律詩…八句（八行）からなる詩。

※一句の字数が五字→五言律詩 一句の字数が七字→七言律詩

#### ポイント2 「起承転結」

漢詩は、第一句で詠い起こし（起句）、第二句でそれをうけて展開し（承句）、第三句では場面が転換し（転句）、第四句で全体を締めくくる（結句）構成になっている。

(2) 漢詩特有の表現を知ろう。

#### ポイント1 押韻

偶数句（七言詩は第一句も）の末字が同じ音（おん）になること。

#### ポイント2 対句

対句とは、形や意味の似ている二つの句を並べる表現技法のことである。